

令和2年度
(2020年度)

第2回
高崎市国民健康保険事業
の運営に関する協議会
(書面開催結果)

令和3年1月26日～2月12日

高崎市市民部保険年金課

令和2年度高崎市国民健康保険事業の運営に関する協議会 書面開催結果（第2回）

1 日 時 令和3年1月26日（火）～令和3年2月12日（金）

2 開催方法 書面開催

3 議 事

（1）報告事項

- ①令和3年度（2021年度）高崎市国民健康保険事業特別会計予算（案）について
- ②オンライン資格確認の導入について
- ③被保険者等記号・番号の個人単位化に伴う枝番の追加について
- ④国民健康保険制度改正について
- ⑤高崎市国保データヘルス計画（第2期）の進捗状況の確認及び中間考察について

出席委員

- ・被保険者代表 新井 眞一・岡田 恵子・續木 美和子・小田澤 道子・今井 隆
長谷川 美由紀
- ・保険医又は
保険薬剤師代表 岡本 克実・有賀 長規・林 信義・黒田 真右・井田 順子
山本 敬之
- ・公益代表 堀口 順・柄沢 高男・中村 さと美・丸山 芳典・清水 明夫
追川 はるえ
- ・被用者保険等
保険者代表 成田 直人・塩谷 聡・齋藤 敦匡

開催概要

令和3年1月26日付けで委員あてに新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面開催にて実施する旨、通知した。

議事内容について、1月26日から2月12日までの期間、委員から意見照会を行った。委員の意見や事務局の回答は、以下のとおり。

委員意見一覧

報告事項①

令和3年度（2021年度）高崎市国民健康保険事業特別会計予算（案）について

〈意見・質問〉

- ・国保改革により被保険者の保険税が増加することがないよう、令和3年度においては現行税率を継続し、納付金が不足する分については国保基金を取り崩し対応するとのことですが、納付金が不足する場合の対応について他市の状況はいかがか。

〈回答〉

- ・納付金が不足する場合の他市の状況についてですが、市によって状況が違い、一概には言えませんが、本市と同じように基金を取り崩している市もあれば、税率を改正して対応している市もあります。

報告事項②

オンライン資格確認の導入について

〈意見・質問〉

- ・令和3年3月から導入となるが、現在、高崎市において、顔認証による本人確認のできるマイナンバーカードを利用できる市民は、どの程度になるのか。また、オンライン資格確認のメリット①～③は3月より利用できる状態であるのか。④の閲覧等は、令和3年10月から利用できるのか。

〈回答〉

- ・マイナンバーカードを被保険者証として利用するためには、マイナポータルから「健康保険証利用申込」が必要となりますが、申込数は全国で約250万人（2/7現在）、カード取得者の7.8%に当たります。本市の申込数については、市町村ごとの申込数を国が公表していないため、確認が取れないのが現状です。なお、令和3年1月末現在、本市で交付したマイナンバーカードは、74,764枚となっております。同時点での本市の人口が372,061人ですので、交付割合として約20.1%となっております。

オンライン資格確認のメリット①～③は、医療機関・薬局にて、令和3年3月から稼働できるよう準備を進めております。国では本格稼働前のテストという位置づけで、500施設程度を目安に3月4日から「プレ運用」を開始し、本格運用は3月下旬から予定しております。対象となる病院や薬局などでの準備状況ですが、カードリーダーの無償提供やシステム整備の補助など国の支援もあり、カードリーダーの申込は、対象となる全国約23万施設のうち、約25%（1/24現在）が行っております。本格運用後は、準備が整った

病院や薬局から順次、利用可能となります。

また、オンライン資格確認のメリット④薬剤情報の閲覧については、令和3年10月から開始するよう準備を進めており、社会保険診療報酬支払基金及び公益社団法人国民健康保険中央会が厚生労働省と協議を行っているところでございます。

報告事項⑤

高崎市国保データヘルス計画（第2期）の進捗状況の確認及び中間考察について

〈意見・質問〉

- ・医療給付費の適正化につながる特定健診・特定保健指導等の保健事業の取り組みの強化については、健康づくりに関する連携協定を締結している当協会も積極的に連携を図りたいと考えている。

〈回答〉

- ・特定健診・特定保健指導等の保健事業については、計画・事業の見直し等も含め柔軟に対応しながら、引き続き地域・職域の連携の強化と健康づくりの推進に努めてまいりたいと考えております。貴重なご意見ありがとうございました。